



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横浜阪東橋開発プロジェクト	階数	地上10F
建設地	神奈川県横浜市南区日枝町1丁目31-31-1、32	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年5月5日
敷地面積	368㎡	作成者	石井 敦
建築面積	216㎡	確認日	2021年5月10日
延床面積	1,861㎡	確認者	鈴木 康彦・田中 陽介



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 97%
③上記+②以外の 97%
④上記+ 97%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.3

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項

総合	その他
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 カテンレル、バルコニーを組み合わせで制御。	Q2 サービス性能 仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる。
Q3 室外環境(敷地内) IV-1) 防犯カメラ等を設けて防犯性に配慮している。	
LR1 エネルギー [BEI]=0.95。	LR2 資源・マテリアル ODP=0.01未満かつ、GWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が50未満)を用いた断熱材等を使用している。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して97%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



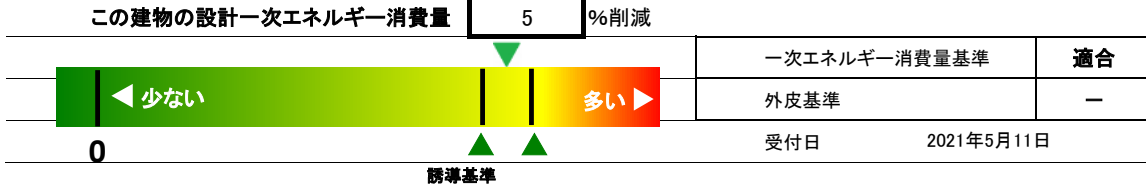
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **横浜阪東橋開発プロジェクト**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③[BEI][BEIm] = 0.95。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **1**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級3 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰給水VB (HIVP)(B)、排水VP(B)、給湯架橋ポリエチレン管(C)、Eは不使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.4
横浜版東横開発プロジェクト

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.4
Q1 室内環境										3.0
1 音環境				4.0	0.15	3.3	1.00			3.4
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				5.0	0.50	3.6	0.50			-
1.2.1 開口部遮音性能				5.0	1.00	5.0	0.30			-
1.2.2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30			-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	-	-			-
2 温熱環境				2.2	0.35	2.6	1.00			2.4
2.1 室温制御				2.2	0.50	3.0	0.50			-
2.1.1 室温		快適・働きやすさ ⑨温熱環境		3.0	0.63	3.0	0.63			-
2.1.2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能		1.0	0.38	3.0	0.38			-
2.1.3 ゾーン別制御性				-	-	-	-			-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ ⑨温熱環境		1.0	0.20	1.0	0.20			-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ ⑨温熱環境		3.0	0.30	3.0	0.30			-
3 光・視環境				2.0	0.25	3.3	1.00			2.8
3.1 屋光利用				1.8	0.30	3.0	0.30			-
3.1.1 屋光率		快適・働きやすさ ⑩光環境		1.0	0.60	3.0	0.50			-
3.1.2 方位別開口		快適・働きやすさ ⑩光環境		-	-	3.0	0.30			-
3.1.3 屋光利用設備		快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策				1.0	0.30	4.0	0.30			-
3.2.1 屋光制御		快適・働きやすさ ⑩光環境		1.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度		快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	0.15	3.0	0.15			-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	0.25	3.0	0.25			-
4 空気質環境				3.2	0.25	3.6	1.00			3.4
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63			-
4.1.1 化学汚染物質		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				2.0	0.40	3.0	0.38			-
4.2.1 換気量		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.2.2 自然換気性能		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		-	-	5.0	0.33			-
4.2.3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		1.0	0.50	1.0	0.33			-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
4.3.1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		-	-	-	-			-
4.3.2 喫煙の制御		快適・働きやすさ ⑪空気質環境		-	-	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.8
1 機能性				2.4	0.40	2.6	1.00			2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60			-
1.1.1 広さ・収納性		快適・働きやすさ ⑫機能性		-	-	-	-			-
1.1.2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ ⑫機能性		-	-	3.0	1.00			-
1.1.3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40			-
1.2.1 広さ感・景観		快適・働きやすさ ⑫機能性		-	-	3.0	0.50			-
1.2.2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ ⑫機能性		-	-	-	-			-
1.2.3 内装計画		快適・働きやすさ ⑫機能性		1.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1.3.1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.50	-	-			-
1.3.2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-			2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
2.1.1 耐震性		防災 ⑬耐震・免震		3.0	0.80	-	-			-
2.1.2 免震・制振性能		防災 ⑬耐震・免震		3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-			-
2.2.1 躯体材料の耐用年数		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-			-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.20	-	-			-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.10	-	-			-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-			-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-			-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		防災 ⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-			-
2.4.1 空調・換気設備		防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-			-
2.4.2 給排水・衛生設備		防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-			-
2.4.3 電気設備		防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-			-
2.4.4 機械・配管支持方法		防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-			-
2.4.5 通信・情報設備		防災 ⑰信頼性		2.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.4	0.30	2.8	1.00			2.9
3.1 空間のゆとり				-	-	2.6	0.50			-
3.1.1 階高のゆとり				-	-	3.0	0.60			-
3.1.2 空間の形状・自由さ				-	-	2.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.4	1.00	-	-			-
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.3.3 電気配線の更新性				5.0	0.10	-	-			-
3.3.4 通信配線の更新性				5.0	0.10	-	-			-
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.3.6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.4
横浜駅東横線開発プロジェクト

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	1.3
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑧地域性への配慮		2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	④敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		3.5	0.50	-	-	3.5
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価					-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
集合住宅の評価					3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	1.00	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無					-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減					3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					4.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避					3.5	0.70	-	-	-
1 消火剤					-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)					4.0	0.50	-	-	-
3 冷媒					3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮					3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮					2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-
1 騒音					3.0	1.00	-	-	-
2 振動					-	-	-	-	-
3 悪臭					-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制					1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目						-	-	-	-
<事務用途>						-	-	-	-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		1.0	-	-	-	-
<住宅用途>						-	-	-	-
健康と安心						-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策		1.0	-	-	-	-